

アフリカ月間 in 神戸  
×  
AFRIKA MEETS KANSAI 2023  
REVISITING AFRIKA PROACTIVELY

カメルーン・コンゴ共和国からのスペシャルゲスト

Republic of Cameroon **FRANCK VERZEFE**



WHO（世界保健機関）2019年 30 HEALTH INNOVATORS IN AFRICA に選ばれた FRANCK VERZEFE（フランク・ヴェルゼフ）氏を迎え、アフリカでの死亡原因の大きな一つになっている「偽造薬」について、その社会問題解決に向けて開発した技術とポリシーを、ビジネスの観点からお話しいたします。



Franck VERZEFE  
CEO TRUESPEC

フランク・ベルゼフ：トゥルー スペック社 CEO

フランク・ヴェルゼフは、アフリカで偽造された薬と戦う薬剤師です。世界中で何百万人もの人々が、熱帯病の予防または治療するために質の悪い薬を服用することで病気や死亡のリスクが高くなっています。しかし既存の薬剤の検査装置は高価なため低中所得国では容易に入手できません。TrueSpecは、薬の品質をチェックするためのナノスキャナーです。スキャンされた薬の情報は、その品質をチェックするためにクラウドデータベースで参照され、偽造されているか 標準以下であるか本物であるかを判断します。TRUESPECの目標は、各国の薬材規制当局がこのサプライチェーンを確保する能力を向上させることで人々を保護することです。これは、アフリカおよび世界での偽造医薬品による死亡率を減らすことを目的として 医薬品の品質チェック、監視、および報告のためのリアルタイムのサービスツールとして、医薬品規制当局でTRUESPECプラットフォームを整備することで実現を目指します。彼は国連/国際電気通信連合および WHO世界保健機関の

健康のための人工知能（AI4H）のフォーカスグループのメンバーです。AI4Hで偽造医薬品を検出するためのトピックグループ人工知能を率いておりAI製薬システムの評価とベンチマークのためのグローバルスタンダードの開発を担当しています。彼は2017年にAfrican Youth Awardにおいて「アフリカの社会起業家トップ5」に選ばれました。また2019年には、WHOによるアフリカのイノベータートップ30にランクインしました。



人工知能を使用して、病院、薬局、製薬研究所、品質管理センターが、いつでもどこでも10秒以内に本物かどうかを判断できるポータブルデバイスを開発。



▲ボドウェン ムアンダ / サプール Photo

Republic of Congo **BAUDOIN MOUANDA**

ボドウェン ムアンダは、サップ（サプール=サップをする人）を通してアフリカのリアルを伝える写真家です。「SAPE（サップ）」は、「Société des Ambianceurs et des Personnes Élégantes」の頭文字を取った言葉で、直訳すると「エレガントでお洒落な人気者の集団」を意味します。この名前通り、サプールたちはおしゃれで優雅なスタイルを誇りにし、自信に満ちています。彼らの精神は争いを嫌い、平和を愛し、人生の喜びや悲しみを“こだわり抜いた一流の洋服”で彩り、自身だけでなく家族や周りの人々にも豊かさをもたらします。コンゴで生まれたサプールは、“おしゃれをする”という普遍的な言語で、世界中の人々を魅了しています。そのサプールの存在を世界に初めて発信した写真家であり、アフリカに沈む社会課題を訴える作品を発表し、現在ではさまざまな賞を受賞しているボドウェン・ムアンダが、5年ぶりに来日することが決定しました。アフリカ月間 in 神戸 AFRIKA meets KANSAIのサプール写真展で発表する作品への想いを、代表であり駐日コンゴ民主共和国特命全権大使のセンダ・ルクムエナ氏とのトークセッションで掘り下げます。聞き手は、世界の音楽、世界のファッションにも精通するFM COCOLO DJ Memeです。